

## 会派の活動を報告します

### 市民ベースの会

当会派は「もっと市民を中心に、市民と一緒に活動を行える会派にしたい」という思いから設立しました。

昨年12月に設立以降、さまざまな場で政策について議論を交わしています。

各メンバーが、教育や子育て、障がい福祉といった分野にそれぞれ強みを持ち、お互いが学び合う風土の中で、さまざまな分野について研究を行っています。

これまでに、科学教室では、たくさん子ども達と科学を通じて、主体的に学ぶことの楽し

さや科学の可能性について触れ合う機会をつくってきました。また発達障がいに関しては、子ども達の親と学ぶ発達障がいセミナーを開催し、東京未来大学こどもみらい園の元副園長の平林先生にお越しいただき、80名以上の保護者と子ども達、現場で働く専門職の方々と一緒に学びあえる活動を実施しました。

日々さまざまな活動を通じて、調査研究を行っていることが、議会での一般質問や討論、常任委員会での発言数の多さにつながっていると考えています。

今後も各メンバーの得意分野を生かしながらセミナーや市政報告会を通じて、共に学び、み

なさんの意見を古河市の行政に生かす活動を行いたいと考えています。

設立の思いを軸足に、「市民ベース」だからできる独自の活動を展開していきたいと考えています。



会長 秋山 政明  
副会長兼幹事長 阿久津佳子  
顧問兼会計 長浜 音一

### 会派に属さない議員

市議会が閉会后、講演会や労組、民主団体等の集会等で、古

河市側（市長）の議案に対する審議経過およびその議案に対する日本共産党の態度等を報告し、懇談等を行っています。

（秋庭 繁）



毎月恒例の市政報告懇談会

### 会派に属さない議員

障がい者や高齢者が安心して住み続けられる街づくりに向け

今夏、公共交通や社会福祉向上のための研修に参加します。また地域の安全のため毎朝防犯パトロールを行い児童の登校を見守っています。（落合 康之）



### 会派に属さない議員

超高齢化社会のなかであって古河市の前期高齢者納付金が異

常な伸び率になっている現状であって、今後は向こう10年先まで見すえたデータの収集と管理運営のあり方を研鑽する必要があります。病院等のカルテから

割り出しができるので、データの分析を元に、2025年の危機的状況（高齢者率の頂上）に対応するために現状から認識する必要があります。（四本 博文）